

Profile

白井 伊三雄 (しらい いさお)

昭和31年 大東市太子田に生まれ育つ。学生時代は野球・バスケットボール・陸上と、成人してからは地域のソフトボール・ゴルフ・スキーとスポーツ万能。大学卒業後、損害保険の営業に従事、地域の消防団に所属し地元太子田の事は最優先。また、大東市青年会議所に所属し、ボランティアで子どもたちのお世話や行事をこなしていた。31歳の時結婚し、1男1女の父となる。教育熱心で子煩悩、真面目で正義感が強く頼りがいのある良い父親。

2007年12月28日業務中の社内で倒れる。全国的にも珍しい複雑な脳の病気で手の施しようがなく命の継続が難しい状態が続く。生死の境をさまよひ、奇跡的に命が救われるも、脳が損傷し重度の高次脳機能障害となる。リハビリと音楽

術後、病室に一人残し帰るのが忍びなく、家族の声や好きな歌を録音しエンドレスに流してもらったら、意識のなかった主人が「オリビアを聞きながら」に反応があり、音楽が脳に良いことを知る。転院したリハビリ病院の音楽療法で聞いた「蘇州夜曲」に反応し涙を流した。歩けなかった主人が見舞いに駆けつけてくれた姪のピアノを聞いて立ち上がり歩いたこともある。

口笛との出会い

言葉がだんだんしゃべれなくなっていた頃、私が仕事で疲れていたとき、主人が突然吹いてくれた「知床旅情」があまりにも上手で心に沁み癒され元気がでた。

11月のDIC口笛コンサートに参加、たくさんの人の前で「ふるさと」を口笛で演奏。そこでCD作成プロジェクトが立ち上がり、皆さまの応援をいただいて、練習を重ねている。



李 広宏 (り こうこう)

1961年 中国蘇州の音楽一家に生まれる。

16歳で中国古典劇俳優となる。87年に来日。日本と中国の歌をお互いの言葉に訳詩をつけて歌い、99年中国語訳の「蘇州夜曲」がサントリー烏龍茶のCMに採用される。四川大震災、東日本大震災、熊本大震災の際に、中国語訳の「千の風になって」を携え、各地でチャリティコンサートを開催。また私財を投じて四川被災地に小学校を寄贈。現在まで14作のCDを出版し、日本・中国・アメリカ・フランス・カナダ・ベトナム・カンボジア・インドネシアなどでコンサートを展開している。音楽を通じて世界の平和を訴え、文化の架け橋になりたいと願い活動を続けている。



プロジェクトS

白井さんとの出会いは、昨年11月に大東市で行われた口笛コンサートにご夫婦で来られた時でした。コンサートを楽しんでいる姿に、急遽ステージに上っていただき口笛を演奏されたのが印象的で、コンサート終了後、奥様から「主人の口笛CDを作りたい」と力強くお話いただき、「作りましょう」と即答したことがこのプロジェクトのきっかけでした。

当初、メンバーは私を含め4人。大東市で口笛の発足から携わりのある山鳥氏、それをピアノで支えてきた高木氏、口笛に精通し録音機材の操作に信頼のある緒方氏。現在はアクロス館長の青木氏、プロカメラマンのWAY氏、ネイリストの平松氏、歌手の李氏もプロジェクトに密接に協力いただき、CDの作成だけでなくコンサートの実現に向けて素晴らしい仲間ができました。

大東市は口笛の聖地とも言われており、この大東市から「プロジェクトS」を発信できることは大きな意味があると思います。口笛は楽しいときに自然と出る素敵な音楽。その素敵な口笛をきっかけに、白井伊三雄さんのこと、高次脳機能障害のことを、多くの人に知っていただきたいと感じています。

(プロジェクトSリーダー 口笛奏者 三宅 英明)



最寄り駅(JR住道駅)からのアクセス方法 3F受付に直結

- 1 JR学研都市線「住道駅」で下車。
- 2 ALBI側改札口を出て、書店奥(西)通路に出る。
- 3 通路左(南)のガラスのドアを出て、連絡橋を渡るとアクロスがあります。

